

明治大学と大阪大学・京都府立大学・関西大学との考古学・古代史大学院生研究交流プログラム

日時:2019年1月6日(日)

会場:大阪大学豊中キャンパス 文法経済学部本館 大会議室

1月6日

11:00-11:05 開会挨拶・趣旨説明 佐々木憲一(明治大学教授、考古学)

11:05-11:40 石川日出志(明治大・教授)「金印研究—真贋論争から璽印考古学へ—」

11:40-12:15 木村理(阪大D2)「埴輪にみられる技術系統と労働力動員に関する予察—古墳時代中期後葉を対象に—」

(12:15-13:10) 昼食

13:00-13:35 鈴木七奈(関大M3)「終末期古墳を構成する諸要素—横口式石槨墳を中心に—」

13:35-14:10 桜田真理絵(明治D3)「皇后制の基礎的考察」(仮)

14:10-14:45 増成一倫(阪大D3)「新任国司給与と「公廩」—公廩稲成立以前を中心に—」

14:45-15:00 休憩

15:00-15:35 里館翔大(明治D2)「平安時代の鞠智城周辺」

15:35-16:10 安東峻(阪大D1)「『日本後紀』弘仁二年十月甲戌条の再検討」

16:10-16:15 休憩

16:15-16:50 岩元亮祐(京都府立M)「中世在地土器からみる都市の消費」

16:50-17:25 吉村武彦(明治・名誉教授)「はるくさ木簡・歌木簡と『記・紀』歌謡・旧辞論」

17:25-17:30 閉会の挨拶 高橋照彦(大阪大学教授、考古学)

18:00-20:00 懇親会